

# 第30回くまもと環境賞 表彰

## 「くまもと環境賞」について

より豊かな環境の保全・創造に関する活動に顕著な功績があった方々を讃え、活動の一層の発展を図るとともに、その意識や活動をより多くの県民の方に知っていただき、ひいては県民総ぐるみで環境の保全・創造に取り組むことを目的とし、平成3年度(1991年度)に創設しました。「くまもとストップ温暖化賞」、「くまもと循環型社会賞」、「くまもと自然共生賞」、「くまもと水の国賞」、「くまもと環境教育賞」の5部門で表彰を行います。

## 「くまもと環境賞 奨励賞」について

部門賞に選ばれなかったものの、特に活動に「独自性」があり、かつ、顕著な功績が認められ、今後の活動に大いに「発展性」が見込まれる方々を「奨励賞」として表彰します。

## 「くまもと環境賞 永年活動表彰」について

くまもと環境賞を受賞した後も、引き続き10年以上、環境の保全・創造に関する活動を続けてこられた方々を表彰します。

## くまもと環境賞 部門賞

### ☆くまもとストップ温暖化賞

ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社  
(熊本テクノロジーセンター)

### ☆くまもと循環型社会賞

株式会社オジックテクノロジーズ

### ☆くまもと自然共生賞

熊本県立芦北高等学校

### ☆くまもと水の国賞

特定非営利活動法人天明水の会 ©2010 熊本県くまモン

### ☆くまもと環境教育賞

エコ村伝承館  
神田 みゆき



## くまもと環境賞 地域貢献賞

熊本県立ひのくに高等支援学校  
末松 秀春

## くまもと環境賞 奨励賞

特定非営利活動法人菊池川自然塾

## くまもと環境賞 永年活動表彰

紫藤 和代 熊本県立芦北高等学校

エコ村伝承館 株式会社オジックテクノロジーズ (敬称略)

## くまもとストップ温暖化賞

### ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社 (熊本テクノロジーセンター) (菊陽町)

ソニーグループ各社では令和 32 年(2050 年)までに環境負荷をゼロにする環境計画「Road to Zero」の達成に平成 23 年度(2011 年度)から取り組んでいる。また令和 22 年(2040 年)までに再エネ由来の電力利用率 100%を目指すなか、熊本テクノロジーセンターでは平成 31 年(2019 年)にメガソーラーを稼働。エコ通勤システムや省エネの取組みを行い、温室効果ガス排出量を削減した。



## くまもと循環型社会賞 及び 永年活動表彰

### 株式会社オジックテクノロジーズ (熊本市)

「環境保護に全力を尽くし地球と人に優しい企業として地域社会に貢献する」を環境方針として、産業廃棄物の削減、水使用量の削減、電気使用量の削減、重油使用量の削減などの取組みを通して、環境保全に寄与している。



## くまもと自然共生賞 及び 永年活動表彰

### 熊本県立芦北高等学校 (芦北町)

生物多様性に富む豊かで美しい海を保全するため、アマモ場の再生を目指している。平成 23 年(2011 年)には「ロープ式下種更新法」の造成技術を開発、令和 2 年(2020 年)には「密植法」を考案し、ヘドロ海域における新たな造成方法を開発し、平成 15 年(2003 年)には 0.25ha まで減少していた芦北湾のアマモ場を、17 年間で 7.5ha まで拡大することに成功した。



## くまもと水の国賞

### 特定非営利活動法人天明水の会 (熊本市)

豊かな自然環境のもと、人が人らしく生き生きと生活していく活力ある地域社会づくりに寄与することを目的に活動している。「地域づくり・人づくりの活動」「豊かな広葉樹の森を目指した活動」「水を通じた環境保全活動」を軸とし、山から海までをつなげたネットワークの充実に寄与している。



## くまもと環境教育賞

### エコ村伝承館(熊本市)

熊本県環境センターのエコロジストリーダーの研修を終えた県内の有志が、主に子ども達への環境啓発と昔からの日本人の知恵を伝承する目的で活動している。平成17年(2005年)から令和2年(2020年)までの間に、県内各地で累計420回の環境学習を行い、延べ36,500人が参加した。



## くまもと環境教育賞

### 神田 みゆき (菊陽町)

平成15年(2003年)から中学校の理科教諭として、様々な授業を展開してESDを推進し、環境省「環境カウンセラー(市民部門)」に認定された。平成29年(2017年)からはSDGsを広める活動を始め、対面で延べ1万人以上に伝えてきた。SDGsをキーワードに人と人とを繋ぐ活動を展開するため、令和2年(2020年)に「NPO法人SDGs Association 熊本」を設立した。



## くまもと環境賞 地域貢献賞

### 熊本県立ひのくに高等支援学校(合志市)

開校当初から、校舎内外の美化・緑化活動に、生徒・職員一丸となって取り組んでいる。「地域花いっぱい&クリーン大作戦」では、10kmにわたって学校周辺道路の清掃活動を行っている。また、「道の日」国道清掃では、国道387号線沿いの歩道及び国道植栽帯の清掃・管理を実施している。



## くまもと環境賞 地域貢献賞

### 末松 秀春 (天草市)

平成15年(2003年)より栖本町環境美化及び生活排水指導員、平成18年(2006年)に天草市環境美化推進員、平成22年(2010年)に天草市環境保全推進員、平成25年(2013年)より天草市環境審議会委員として活動し、天草市栖本町の海岸線の清掃活動を実施している。海岸のパトロールを実施し、不法投棄等の防止に寄与するとともに、小学校で環境教室を行い、地域の環境教育に取り組んでいる。



## くまもと環境賞 奨励賞

### 特定非営利活動法人菊池川自然塾 (山鹿市)

小学生から大学生までを対象に、自然観察を基本とした様々な内容の講義を年間10回程度行い、「若者が集い、切磋琢磨する場」を提供している。子ども達が、菊池川流域の豊かな自然及び文化に触れる機会となり、自然観察や学習方法を身に付けることができ、参加者の自然に対する認識を高めることができた。



## くまもと環境賞 永年活動表彰

### 紫藤 和代 (菊陽町)

グリーン(ゴーヤー)カーテン菊陽の事務局長として、ゴーヤーによるグリーンカーテンの育成・啓発に取り組んでいる。普及活動を14年間、エコ講座を10年間、学校での出前授業を11年間、県庁舎グリーンカーテン作りを10年間、熊本県地球温暖化防止活動推進員を平成14年度(2002年度)から現在まで行うなど、長年にわたって環境保全に取り組んでいる。

